

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



※本書の一部または全てを無断で複製・転載する行為を禁じます※
Reproducing all or any part of the contents is prohibited.

多少名のあった
近衛真基の執事が
先日入府
したようです

ト

――あんなのとはいいは
運命だったのだと想っ

先れてしまっ前に
是非マイク様に
如何か……と
悪人より運命が
入りまして――

こゝろが
『それまで』
に動きます

ト

へ……
悪くねえな

他者を卑下し
人を人として扱わぬ
下種な目 言動

若くて
顔も髪色も綺麗だ
身体は苗相だが
調教すりゃいい

はっ
悪もち

エリツク
こいつを買うぞー！
すぐに手続さしる

秀麗な外見とは裏腹に
純然たる『悪魔』のみで
構築された存在

きみはあまりに
鮮烈だった――

きみを して ぼくも



ははっ
随分うまそうに
褒めるじゃあなか

オトの風が
そんなに
愛しいかま
んん？

は……はひっ♡
マイク様は
僕の全てです……



どいつもこいつも
汚えもんね
おっ助てやがって

何をオオオスに
シコつてんだあ？
許可やるから
言ってみろ

まったく
下種な体風情が
恋する乙女みたいいな
ブラしてんじゃねえよ

真流
マイク



剛士のマイク様
貴方様に永遠の
忠告を贈るよ



あつはつは！
今日も仕事だなあ
もつと無様に
罵撃うて捕ひさ！



そのお前
…誰が先日の
奴隷市での
購入りだったな？

〇〇〇



えっ？
は…はい

よふし
特別に今日は
お前に奉仕を
させてやろう

エリツク
準備しろ



そんな…ツイタ様
今日は僕に
ご許可を頂けるかと…

うるせえよ
知るかおったんだ
下がれ



おら
しやぶれ



舌を伸ばして
運わせる

喉まで溜めたら
力を入れて
締めろんだ

オレにしゃかり
縛り込んで
尻に入らねえと
次はねえからな

……しかし
新人やにしては
結構で大人しいな

大抵の野郎は
最初は大暴れして
喘づいて来るんだが

強り合いはねえが
手が掛かなくて
強い勝手はいいか……

利口な感には
大サービスタだ
……ほら

他の
奴隷どもが
羨むぜ？

オレの胸は
毎日争奪戦
だからなあ





マイク様

新巻眼鏡がいきなりオレに自由に触られるわけねえだろ

白惚れてんじやねえよ

…お食事の時間です
ごさいます

あ？

…そういや
腰痛ったな



しやーねえ、そんならお聞きにすっかあ



おい腰ども、様片付けしとけよ

かしこまりました、マイク様



おい大丈夫か？ 長押しだったな

あ…いえ、平気です…あの…

あの前の向こうは食堂なのですか？

あの先はマイク様の私室だよ

ロザイは新入りだから知らないんだね



RAY



「そうだね
マイタ様の物は
執事のエリアック様
だけが立ち入れる
僕らは誰も
あの扉の先を
見たことは
ないのさ」

「エリアック
様とワ」

「噂じゃ私室で
エリアック様と
遊んでるんだって
言われてんだよな」

「ワウ」



「だから特定の
恋人が居るんじゃないぞ
念のためお互い確認しろ」

「マイタ様は
女性には興味
ないらしいから」

「念のため
二確認しろ
エリアック様とワ
ないからってな」



「マイタ様は機嫌が悪くて
お前は絶対許さずにいるが」

「井沢とセリタは
二人として許して
もらえたことがある」



「…そんな話
あるんですね」

「え、前々を指した上
俺ら奴隷には
これくらいしか
調査がねえからな」

「……」



おはよう
ございます
マイク様





そりいら
聞じゃミッワ

なら何も知らずに
睡らされていた
真れなご主人様に
敬えてあげますよ

きみは随分と
エリツクを
信用している
みたいだけど

そもそも最初から
彼はぼくの
忠実な配下だ



先日の奴隷市場で
ぼくをきみと
引き合わせたのも
指差通りなのさ



最初めたのは
いつだったか！
あの目もきみは
奴隷を品定めしてた

人間の分限で
同じ人間を見下す
下種な目が
たまらなかつたよ



先程エリツクが
きみと話をした
きみはエリツクを
信用している
みたいだけど

きみは随分と
エリツクを
信用している
みたいだけど

それに加えて
四六時中、男に
囲まれている
このドエロボデー

くそっ
身体がうま
く動かせ

先刻お預けをくって
がっかりしたよ！
使い方がまるで
なってないんだもん

やたら主張の激しい
下品なデカ乳は
こうして乱暴に
弄んでもらってこそ
存在意義があるのに

酒に何が
盛られてたか
！油断した！マ



おいマ
誰の許可を得て
こんな！マ

こいつ、オシの
身体を、まるで
玩弄してス...



あ！
さうだ

あれも試して
みよっかなう

あ？

おーおーい
おーおーい



てきたっ♡

おか



イラマチオって
いうんだっけ？

されるよりする方が
気持ちよさそう
だったからさあ
試させてもらおうね

ほろん



ほらほら
ちゃんとやらなきゃ
終わらないよ

自身の自由を大事にけは
いなくとも、
はつ掛けるとい

ガッガッ



きみ、なんて
言ってたっけ
んーと…確か、

衛生つ…このオレに
こんな臭い宮ん様
押し付けやがるぞ

「舌を伸ばせ」
「喉も締める」
…だっけ？

ズズ



あはっ それって
息が通れてる音？
それとも唾き声？

豚の鼻が
鳴る音みたいで
可愛いねぇ♡

口内の
あったかい感度も
悪くないなぁ♡

ズズ

ズズ

ガッ



ふは、

というわけで
これは
またの機会に
しまっか



じゃあ次は！
一喝しよっか
なま〜♡



少しずつだが
身体に感覚が
戻ってきた



けど
ビジネス的には
イマイチかな

思ったより
そそられないというか
物足りない感じ！

興アツクがあれば
もっといいかもね
今度用意しておいて
あげるよ

これじゃまるで、
無力な奴隷じゃねえかッ



さういえば きみ
経験とはセックス
しないんだってね

恋人がいるとか
噂になってたけど
実は処女なんじゃ
ないの？

あ〜っけ

強引めちやあう
かなあ♡



はっ
ほくや 憧れの
マイタのおまんこ
ほじっちゃってさ

はー
すこいなあ



いつも五種気取りで
男たちを辱らせてる
「マイタ様」が

たった一人の奴隷に
押し倒されて
女の子みたいな
甘い声で囁いて...

最っ高
だよねえ

はっ
...ッ 調子に
乗ってんじゃ
ねえッ!!



はっ
はっ

はっ

はっ
はっ
はっ



はっ



刃物なんて
危ないなあ

せっかく優しく
してあげようと
思ったのにさ

ツッ!!

カキイイ



な！なんて
力と俊足速足だ
押し返せるさ

もっ身体の自由は
戻ってるはずなのに...

ふ...ふさげんなッ
押はけたことばかり
抜かしやがって

オレを捕ま
えりて.....



はあ.....

やっほ
甘やかしたら
ダメだな

しっかり
寝けないと

カクン







きみが悪い
わけじゃない

生まれた時から
運命が決まってる
だけのことだ



きみが人間で
ほくが人狼
だからだよ



病室に入院してる
あいつは

あいつは
あいつは
あいつは



あいつは
あいつは

ちやうど



あいつは
あいつは

あいつは
あいつは



全身でしっかり
自覚しなよ
まみは意識だ

だから
おらんちんは
触ってあげない
はーい
はーい

自分でも
触っちゃダメ
……いいね？
はーい



はあー♥
それにしても
恐ろしい心地のいい
身体だなあ

きみって、きつと
ぼくに犯されるために
アナから先に
生まれてきたんだよ

でなきや……ここまで
気持ちいいわけが
ないもの！♥

気持ちいいやア
……犯されてきた……



ロディが
マイクの
ご主人様だ



ほらマイク
もつと入り口を
ぎゅゅと締めて

ぼくのちんぽの
感度を覚えて
脳に刻み付けな

……全裸で
……おらんちんを
……犯す……

—!!
ぬえマイク

きみが双陸連とのセックスを拒んでた本当の理由三つくらいは解るよ

エリックはそもそもザイじゃないもの悪人だなんてありえない

おふん



「悪人だか悪ければ双陸連は悪人か」
「悪人か悪ければならぬ」

「悪人か悪ければならぬ」

「支配することばかりの望みではなかったからだ

命令で犯さずとも興奮できないからやらせなかった

こうして誰かに自由を奪われてレイプされるのを情っていたのさ





何人もの距離な男を捕まえば
いつかは反乱されるはずと
内心期待していた



距離を縮めて
必死に抵抗する
交配して



交配が完成
されたがまだ
足りない



確かに
そつちのから
しれない



だって…
こんなにも
満たされてる



口元だけ
開いてくれよ



今更で感じたことのない
快感 高揚感 幸福感

家族も使用人も校舎も
誰にも満たせなかった
おれの満たした心を



ロイヤル
と……

4



ロイヤル

オ



オシの全部を
犯し尽くして
お前だけのものに
してくれよおツ

オシ様は
愛されたい

ロイヤル
おツさん……
お前だけのものに
してくれよおツ

オシ様は愛されたい

オ

オ

オシ様は愛されたい

オ



オシ様を
おツさんよ

オシ様



ロイヤル
おツさん？

オシ様は愛されたい
おツさんよ？
お前にそんな権利
あるの？

「さみを~~し~~て ぼくも~~も~~」

2020.08.23 冊子初版

2021.12.17 電子版

【発行】

LV43 / しあ

lv43im@yahoo.co.jp

<http://lv43.x.fc2.com/>

※本書の一部または全てを無断で複製・転載する行為を禁じます※
Reproducing all or any part of the contents is prohibited.



マイク様っ
今日はずいぶん
ご奉仕の許可を...

お前は先日も
勝手にして
頂いてたたる
今日は譲れよ

まったく
騒ぐな
邪魔しい

オレの許可なく
口を開くなど
言ってるだろうが

マイク様

あの御方が
お呼びで
ございます

ドキ
ドキ
ドキ

そっ...
そうか♥
わかった...

おえマイク

きみとの出逢いは
やっぱり
運命だと知っていた

イイ...
イイ...

犯した後は高い獄す
つもりだったのに

マイタ♥約束してた
きみ専用の開口具と
鼻フックだよ

もっと愛玩したくて
生かしてしまってる

人扱
ロディ

これまで最多の束縛を
周って来たけど

他にも色々
試したい器具も
あるから

こんな気持ちには
きみが初めてなんだ

馴までたっぷり
遊ばうね♥



きみを 由って
味わいたい♥

ロディ様お

今日もオレ様
カクカク抱して
可愛がっててください♥

きみを犯して
ぼくも墮つ

△完▽



ありがとうございます♥

オレこの時間が
待ち遠しくて…
期待して物記が
止まらなくて…♥

オレ様

LV43-2020.08.23

